

事務事業調書

平成26年度

事業No	577	課	区画整理課	係	桜井換地係	起案者	名倉建志
						決裁者	市川公清
事務事業名	桜井換地事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 4 市街地 3 周辺市街地 1 土地区画整理事業による住環境の整備 1 安城碧海桜井駅周辺特定土地区画整理事業			予算科目(会計)		安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特		
				予算科目(款・項・目)		5-5-5		
				総合計画以外の計画		市都市計画マスタープラン、区画整理等		
				関連する総合計画の施策		3-4-3-1-2		
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規定）						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H17.3月一般質問答弁、H15.12月一般質問答弁要旨：積極的に推進していきます。						
陳情・市民要望	有	桜井交番の駅周辺への移設						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成11年度	経過	15年目	終了	平成33年度	期間	23年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	当該地域の地権者が				～になる	桜井駅周辺の土地利用を増進することができるようになる	
事務事業の内容	本市南部の地域拠点として位置付けされた桜井駅周辺の都市機能の整備を図り、安全で快適な住環境を備えた市街地を形成します。							
改善・対策の履歴	(対策履歴) ・土地区画整理法第80条（土地所有者の同意を得ない工事）の適用2件 ・同法第133条（書類の送付にかわる公告）の適用2件							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,314,517	1,265,822	1,515,372	1,362,210	1,792,597
財源計	1,248,997	1,213,532	1,457,412	1,304,250	1,731,298
財源の内訳	国庫支出金	269,163	317,392	444,500	267,009
	県支出金	0	6,277	12,375	787
	市債	200,000	73,587	150,000	160,000
	その他()	483,494	642,224	429,634	350,760
	一般財源	296,340	174,052	420,903	525,694
受益者負担金	384	1,795	1,900	2,710	1,900
職員人件費 (従事職員数)	65,520 (10.40)	52,290 (8.30)	57,960 (9.20)	57,960 (9.20)	61,299 (9.73)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	仮換地指定交渉	見込	115.00	804.00	300.00	1,000.00
			実績	111.00	494.00	310.00	
	指標名 (単位)	指定面積 (㎡)	活動の総事業費 (千円)	6,070	4,956	5,086	
			活動にかかるコスト (千円)	54.68	10.03	16.41	
活動2	活動名 (活動内容)	建物移転交渉	見込	25.00	33.00	35.00	41.00
			実績	22.00	32.00	25.00	
	指標名 (単位)	建物移転戸数 (戸)	活動の総事業費 (千円)	763,630	983,828	985,351	
			活動にかかるコスト (千円)	34,710.45	30,744.63	39,414.04	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名 (単位)		目標	48.10	53.00	60.00	66.00
	家屋移転率 (%) = 移転戸数 / 総数 (462戸) 当初401戸、H19年度437戸、H25年度462戸に変更。(%)		実績	47.40	54.70	57.10	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	未達成	達成	未達成	
	0.00						
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	使用収益開始されていない（接道する道路が一部未築造や仮換地の一部が利用できない）画地について、地権者が先行的に利用したいとの申請（76条申請）があった場合には、条件付きで許可し、土地利用の早期化・事業効果の早期発現を図っています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	（外部要因）・大きな物件の移転を行ったことにより1件あたりの家屋移転補償費が増加しました。また、従事職員数増により人件費が増加しています。
成果	（内部取組み）・計画及び実施の各段階における換地係・工務係の連携密接化→効率的な業務推進を図りました。 （外部要因）・建物移転戸数→当初の国庫補助金が減額となり、目標達成が難しい状況でしたが、補正等により概ね達成することができましたが、平成26年3月の事業計画変更に伴い、移転戸数の総数が437戸（264/437戸：60.4%）⇒462戸（264/462戸：57.1%）に変更となったため、目標の移転率には達成しませんでした。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
限られた財源の中、集団移転など効果的・効率的な移転を実施し、事業期間の短縮をめざします。事業の早期進捗を図ることにより、損失補償費・人件費等の事業コスト低減を図ります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	事業着手から15年が経過し、今までの道路築造や住環境整備により、住宅地の要望が一層多くなり、人口が増加しているため、公共施設整備などの改善が益々求められており、事業を継続していく必要があります。ただし、整備箇所が、既成住宅地に取り掛かっているため、事業進捗の遅延が懸念されますが、効果的・効率的に事業運営を行い、早期完成を目指します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	578	課	区画整理課	係	工務係	起案者	吉田浩隆
						決裁者	市川公清
事務事業名	桜井施設整備事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 4 市街地 3 周辺市街地 1 土地区画整理事業による住環境の整備 1 安城碧海桜井駅周辺特定土地区画整理事業				予算科目(会計)		安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業			
					予算科目(款・項・目)		5-5-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策		3-4-3-1-2			
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	土地区画整理法								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	有	H15.12議会定例会要旨：積極的に推進します。								
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託	委託先		民間企業						
実施期間	開始	平成11年度		経過	15年目		終了	平成33年度	期間	23年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		桜井駅周辺地域の土地利用が			~になる		増進される。		
事務事業の内容	本市の南部地域の拠点として碧海桜井駅を中心に住商のバランスの取れた都市機能の整備を図ります。									
改善・対策の履歴	特にありません。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	263,749	708,929	822,470	351,342	452,551
財源計	241,699	683,729	791,600	320,472	421,051
財源の内訳	国庫支出金	36,150	67,050	102,600	53,500
	県支出金	0	0	2,250	0
	市債	100,000	200,000	150,000	100,000
	その他()	51,216	300,000	126,750	114,453
	一般財源	54,333	116,679	410,000	52,519
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	22,050 (3.50)	25,200 (4.00)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)	31,500 (5.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	道路築造工事	見込	690.00	895.00	780.00	940.00
			実績	738.00	941.00	559.00	
	指標名 (単位)	整備延長(m)	活動の総事業費 (千円)	102,159	210,995	191,675	
			活動にかかるコスト (千円)	138.43	224.22	342.89	
活動2	活動名 (活動内容)	排水路築造工事	見込	100.00	200.00	0.00	150.00
			実績	244.00	241.00	157.00	
	指標名 (単位)	整備延長(m)	活動の総事業費 (千円)	50,773	31,448	5,726	
			活動にかかるコスト (千円)	208.09	130.49	36.45	
活動3	活動名 (活動内容)	整地工事	見込	17,000.00	17,000.00	12,000.00	11,800.00
			実績	17,515.00	13,406.00	21,919.00	
	指標名 (単位)	整備面積(m ²)	活動の総事業費 (千円)	79,820	53,883	73,336	
			活動にかかるコスト (千円)	4.56	4.02	3.35	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	60.00	63.70	67.00	69.80
	道路築造率(%) 道路築造済延長/道路総延長×100(%)			実績	60.10	63.90	66.10	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果 1、2 以外の成果	
成果	都市計画道路桜井駅前線の道路築造工事が現道拡幅工事にもかかわらず、大きな渋滞や、苦情等もなく完了しました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	道路築造工事は、H24の側溝布設等の部分施工から、H25は道路の全面施工箇所が多くなったため、活動に係るコストが増加しました。
成果	東日本大震災の影響により国庫補助金の採択率が低かったため、道路築造延長が減り、道路整備率が目標を達成できませんでした。 都市計画道路桜井駅前線の道路築造工事により、豊田西尾線との交差点も整備して、右折帯が設置できたため、渋滞緩和が図られました。

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
H26年度においても早期発注による工事の平準化を図り、工事による交通渋滞を極力防ぐとともに、関係機関と十分調整を図りながら、効率的な施工管理に努めます。今後は、既存集落内の工事を中心となりますので、地元町内会と十分調整を図りながら、工事の円滑な推進に努めます。

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	事業着手から15年が経過し、今までの道路築造や住環境整備により、住宅地の要望が一層多くなり、人口が増加しているため、公共施設整備などの改善が益々求められており、事業を継続していく必要があります。ただし、整備箇所が既存住宅地に取り掛かっているため、事業進捗の遅延が懸念されますが、効果的・効率的に事業運営を行い、早期の完成を目指します。